

会期中のイベント  
ギャラリー前 エントランススペース

吉田富久一作品展示  
ギャラリー & 特設会場

## 炭火で焼く土器・焼かれる食

炭火焼「食」のワークショップ 4月30日(土) 15:00~

- ・パフォーマンス「大好なネギ」ショーとトーク  
ク라운☆ミーナ(道化師)+花方 馴之介(MC)  
\*道化師を演じ続け、「芸術家が提供するべきは、ものごとの好き嫌いではなく、『食の安全』を訴えることだ」と思う。
- ・炭火による竹パン焼き/串パン焼き(衛守 和佳子+加藤 学)  
\*小麦粉に玄米やシイの実を練り込み、炭火で焼くパンを提案し提供する。調理の過程で酵母菌のはたらきにも注目。
- ・秋田の米/秋田の味噌タレ焼おにぎり(米/杉山 正人+吉川 信雄)  
\*農民芸術家杉山さんが、「メダカの様める秋田の田圃」で収穫した米。米を原料とした米麹の味噌は穀倉地帯の特産。ほかに、縄文ビール(宮下 貴史)、ハチミツ(坊ノ内養蜂園・鈴木 一)、福島のだいす味噌(長谷川千賀子)、川越の自家製味噌(天沼一志)、どんぐり味噌、シイの実スナック、科学実験教材(鈴木孝一)など

オープニングパーティー 4月30日(土) 17:00~18:30  
みなさんの応援を得て「食」のワークショップがわり、何時ものオープニングパーティーとひと味違う。

## 利休は縄文を知っていた?

「囲炉裏カフェ“縄文の囲炉裏”と“お点前”ワークショップ

①5月7日(土) 13:00~ および ②5月8日(日) 13:00~

森山 哲和(考古造形研究所)+長谷川 律子(茶道家)+「漆土器」長谷川千賀子  
\*森山哲和さんは縄文遺跡の家屋の石組みを前に「きっと、利休は縄文を知っていたのではなかろうか」と語る。お点前にお招きした長谷川律子さんは「茶の湯の作法は生命の内からの働きかけ。形式にあらず」と言う。

## 地球の未来“環境を考える”

世界小屋会議(ミニ・シンポジウム)「環境カフェ」

5月14日(土) 15:00~

多田 満(国立環境研究所 主任研究員)+井上 寿一(多摩市民環境会議)、ほか  
\*多田さんは昨年「レイチェル・カーソンはこう考えた」(筑摩書房)を出版。広く市民や環境団体との対話をもとめ「環境カフェ」のキャラバンをはじめた。これに多摩市民環境会議の井上さんが同調し、応援に駆けつける。

## まちに鉱山あり

「アルミ空缶」のワークショップ「挑戦—炭火でアルミ casting」

5月15日(日) 13:00~

担当: 社会芸術  
\*生活残渣の中には利用価値のあるものが沢山ある。リユース、リサイクルされるものがそれだ。あるとき、炭焼を始めた彫刻家はアルミ空缶を手にとり、「まちは鉱山がある」と思う。参加者はアルミ空缶をご持参ください。

## 沃土のつくり方

世界小屋会議(ミニ・シンポジウム)「土壌について考える」

5月21日(土) 15:00~

峰岸 久雄(造園家)+鈴木孝一(生物工学・ISTA) ほか  
\*土壌には砂・粘土やミネラルのほか、微生物が住みつき腐葉土化、複雑で有機的な地中世界が構成されている。生物環境の未来を拓くには、バイオテクノロジー技術の優先が、それとも土壌の回復にあるのか。沃土のあり方を見直す。

## 土偶は豊饒と治癒の祈り

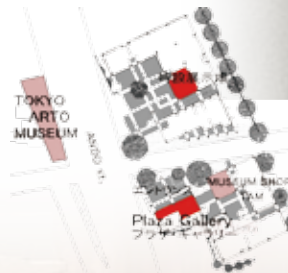
「土」のワークショップ「炭火で焼く、小さな土偶」

5月22日(日) 13:00~

古川 勝紀(画家)+ 社会芸術  
\*縄文人は必要に応じ様々な土器をつくった。どのような粘土を使い焼いたのだろうか。試しに、井戸掘りで出た粘土(安部大雅)、田圃の土(杉山正人)も焼いてみよう。土偶に込められた祈りの意味、粘土や炭・灰のはたらきも考える。

- ①展示 観覧無料  
作品のお求めは画廊まで
- ②シンポジウム 参加費無料
- ③「食」のワークショップは時価
- ④各ワークショップ 参加費500円  
ほか、農産物(米・ハチミツ等)、出版物の販売もあります。
- ⑤④参加お申込は、社会芸術まで  
090-8301-5811  
pwd4tur2ev@me.point.ne.jp

\*土器を扱い、健康元「食」をテーマにすると、「農」と「生命」が繋がってくる。にわかに画廊が台所に変身し、火鉢土器と炭火で調理された素朴な食べ物がお卓に並ぶ。地球と生命体のエネルギー循環の繋がりが見え、過去から未来へと受け継がれる自然(じねん)の拘りとして共有される。



2016年4月30日(土)  
—5月29日(日)  
10:00—18:30 / 水曜休み

プラザ・ギャラリー  
〒182-0002 東京都調布市仙川町1-24-1  
仙川アヴェニュー内  
電話: 03-3300-1010  
FAX: 03-3305-7491  
email: info@tokyoartmuseum.com  
URL: http://www.plaza-gallery.com/



○アクセス  
【電車】京王電鉄: 仙川駅下車 徒歩約5分  
【バス】小田急線「成城学園前」駅発: 小田急バス「狛江営業所」行き「仙川駅入口」バス停下車 徒歩約5分  
「調布駅南口」行き「仙川駅入口」バス停下車 徒歩約5分

社会芸術 吉田富久一による  
創造性のかたち

Plaza Gallery